

3月9日探究Day「探究II活動報告」



後輩に伝える・考える



1年生にとっては、探究のテーマを見つめなおす機会になったと思います。春休みに向けて情報収集を頑張ります。

3月9日(金)にSS探究I・II合同の探究Dayが行われました。一年間の課題研究の成果や課題をタブレットを見せつつ、後輩に紹介しました。アドバイスの場面で自分たちが取り組んできた中で直面した問題や、調査を進める中で苦労など今だから話せる反省も聞こえ、成長を感じました。

「生成AI」とどう向き合う？



探究Dayの後半、2年次生は大講義棟にて大阪大学で教育工学をご専門に研究されている長岡徹郎先生より「生成AIとの向き合い方」の講演をしていただきました。昨年に引き続き「生成AIを使ったことがある人」という冒頭の問いには多くの生徒が挙手し、今や当たり前存在となっていることが分かりました。講演の中では生成AIは言葉の意味を理解しているわけではなく、あくまで確率で文が生成されていることと「AIがつく嘘(ハルシネーション)」についても丁寧に説明していただきました。生徒からの「だれでも生成AIが使える今の環境は間違っていたか」という質問への長岡先生の解答が印象的でした。「『なかつた世界』に戻ることは難しい。世に出た技術にどう向き合うか、今まさに皆さんの学ぶ姿勢が求められています。」

24回生研究テーマの焦点化



2年次生の課題研究の成果を聞いた1年次生は、いよいよ自分たちの研究テーマを絞っていきま。春休みにできるだけたくさん情報を集め、どのような研究をしていくかを考えましよう。3月は知識を蓄える期間です。色々な文献を調べましよう。

プログラブ探究AB合同の「振り返り発表会」を行いました。



プログラブ探究ABに参加した23回生、24回生がSSH運営指導委員会の先生方と一年間の学びを共有しました。参加した生徒からは「プロBでタイ王国の高校生との交流を通じてコミュニケーションが身についた」「直接海外の人と対話することで理解が深まった」「プロAに参加して『挑戦』に前向きになれた」「視野を広げる重要性を体感できた」と自身の成長を実感する発言が多くみられました。大学の先生方をはじめ、研究員の方からは「プログラブ探究は文系理系に関わらず視野を広げるチャンス」とのコメントをいただきました。プログラブ探究は次年度も続きます。新たな参加者も募集しますので、ぜひ参加してください。

科学部天文班「日本天文学会ジュニアセッション」に参加



科学部天文班2年次生代表生徒が、3月7日(土)日本天文学会ジュニアセッションに参加しました。ハイレベルな発表が並ぶ中、参加した生徒たちは堂々と発表していました。いただいたコメントを基に、夏の発表会に向けて最後の追い込みを頑張っていきます。